

# 希望

令和6年7月1日（月）第4号  
多治見市立笠原中学校 学校だより  
多治見市笠原町 2455-12 TEL43-4165

## 『力戦奮闘』 かいっぱいぶつかっていこう!!

校長 加藤智夫

6月22日（土）のバドミントンの東濃西部ブロック予選会を皮切りに、「東濃地区」の中体連夏季大会が始まりました。今後、種目によっては、7月13日（土）・14日（日）まで大会が行われます。

今年度から、中体連市内大会を行わず、競技に出場する生徒やチーム数の減少もあり、東濃地区大会から大会を行うことになりました。部活動の指導を地域のクラブや競技団体等に移行する「部活動の地域移行」、大会に出場できるよう学校間でメンバー調整を行う「合同チーム」制度だけでなく、中体連の大会運営方法にまで、部活動を取り巻く状況は大きな変化を迎えています。



ソフトテニス競技では、以前から、県大会等の上位大会出場を目指して順位を競うリーグと試合を通して他校の仲間と部活動で培った力を確かめ合うリーグに分けて、大会を運営しています。それぞれのリーグでボールを追っている子どもたちの姿を見ながら、その競技を学ぶ（技能を高める）ことを大切にしながらも、その競技を通して学ぶ（自らを高める）ことの大切さを強く感じました。

選手の皆さん、日頃の練習の成果を存分に発揮してください。朗報を期待しています。

最後になりますが、関係競技団体のみなさん、指導者の方々には、「子どもたちのために」と大会運営に多大なるご助力をいただいております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

また、保護者のみなさん、子どもたちへの盛大な応援をありがとうございます。

## 笠原小中は「資源回収BOX」に変更します

昨年度まで年4回実施していた資源回収ですが、今年度5月をもって最後となります。理由は以下の通りです。

- (1) 今年度9月から笠原小学校旧校舍取り壊しに伴い、集積場所として使用していた笠原小学校敷地が使用できないこと。
- (2) 児童生徒数の減少に伴い、資源集荷・積入を行う保護者および職員数が減少していること。

資源回収BOXは、24時間いつでも回収できます。今後ともご協力いただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

【資源回収BOX 設置場所】

タイルミュージアム・交流センター・体育館の臨時駐車場



## < 7, 8月の主な行事予定 >

日	曜	【7月】 行事予定	下校時刻
1	月	三者懇談①	14:55
2	火	三者懇談②(2年なし)	14:55
3	水	2年若狭研修①	15:20
4	木	2年若狭研修②	16:05
5	金	三者懇談③ 2年生3限授業から	14:55
6	土	中体連(ハレポ-ル)①	/
7	日	中体連(ハレポ-ル)②	/
8	月	三者懇談④ 3期スタート	14:55
9	火	三者懇談⑤	14:55
10	水	三者懇談⑥	14:55
11	木	三者懇談⑦	14:55
12	金		16:15
13	土		/
14	日		/
15	月	海の日	/
16	火		16:05
17	水	部活動 SC 来校	16:15
18	木		16:05
19	金	夏休み前集会	15:20
20	土		/
21	日	夏季休業日開始	/
22	月	学習会A①9:00-11:30	/
23	火	学習会A②9:00-11:30	/
24	水	学習会A③9:00-11:30 市P 連理事会 19:00	/
25	木		/
26	金		/
27	土		/
28	日		/
29	月		/
30	火		/
31	水		/

日	曜	【8月】 行事予定	下校時刻
1	木		/
2	金		/
3	土		/
4	日		/
5	月		/
6	火	学校閉校日	/
7	水	学校閉校日	/
8	木	学校閉校日	/
9	金	学校閉校日	/
10	土		/
11	日	山の日	/
12	月	振替休日	/
13	火	学校閉校日	/
14	水	学校閉校日	/
15	木	学校閉校日	/
16	金	学校閉校日	/
17	土		/
18	日		/
19	月	学習会B①9:00-11:30	/
20	火	学習会B②9:00-11:30	/
21	水	学習会B③9:00-11:30	/
22	木		/
23	金		/
24	土		/
25	日		/
26	月		/
27	火	夏季休業日最終	/
28	水	夏休み明け集会 応援リーダー会	14:25
29	木	前期期末テスト1日目	14:05
30	金	前期期末テスト2日目 結団式	14:05
31	土		/

### 「ほめるとは 叱るとは 挑戦する勇気の火を灯すこと」

親育ち4363たじみプラン 事務局

「わが子に対しては叱ることの方が多くなってしまふ」そんな声を聞くことがあります。

「這えば立て立てば歩めの親心」という言葉があるように、わが子の成長を願う気持ちが強いほど、私たちの目は、その子が「今できていること」よりも「もっとできてほしいこと」に向くようです。そうして、期待を懸命に伝えようとします。それが「叱ることの方が多くなってしまふ」という意識につながるのでしょうか。しかし、これは、親としての愛情そのものであって、責められることでも、否定されることでもありません。

子どもたちは、日々、様々な姿を示します。その姿が、例えば10あるとします。その10の内には、「ほめたくなる姿」も「叱ったり注意したりしなければならない姿」もあるでしょう。それが10の内1、いや、100の内1であっても、「たまたま」に見えても、わが子の「ここがいいね」を見つけませんか。そして、叱るときも、ほめるときも、その1を心から信じ、伝え続けませんか。その子の心の中に、安心の、勇気の小さな火がともるでしょう。その火を支えに、自ら挑戦した経験の数だけ、子供達は成長します。

挑戦する勇気の火を、子供達の心に灯したい。ほめるとは、叱るとは、この願いを言葉で、その子の胸の奥深く届ける行為なのではないでしょうか。  
(教育推進課 家庭教育担当)